

平成26年度 第7回 広報公聴委員会 会議録

開催日	平成26年10月23日(木)
会議時間	午前10時00分～午前11時07分
開催場所	佐倉市議会 議会棟2階 第三委員会室
出席委員等	[委員長] 石渡 康郎 [副委員長] 久野 妙子 [委員] 高木 大輔、五十嵐 智美、村田 穰史、小須田 稔、 川名部 実、櫻井 道明、望月 清義
欠席委員等	なし
委員外議員	なし
説明のため出席した者の職氏名	なし
議会事務局	[局長] 関口 直行 [書記] 村上 一郎、室岡 秀樹、矢島 隆成、酒井 理恵子
協議事項	(1) 意見交換会の運営について

【決定事項】

(1) 意見交換会の運営について

- 意見交換会の議員のグループ分けと各役割分担、当日のスケジュール等については正副委員長と事務局による提案のとおりとする。

【主な意見等】

(進行等について)

- 進め方はどのようにするのか。議題を用意しておかないと何かおっしゃってくださいというわけにもいかない。
→ 導入部分では自己紹介と日頃の活動状況をそれぞれ話してもらい話題を提供してもらう。そこから話を進めることをイメージしている。
- 司会進行役はある程度議論の道筋を決めて誘導していかなくてはならない。今回の意見交換は団塊の世代が高齢化し、10年後には施設介護も地域の介護も大きな課題を抱えることが予測される中、現状を踏まえどのように考えてられているのかということが話し合いの中身になると思う。
- 資料は国レベルのものではなく佐倉市のデータで、例えば介護保険の総給付費や認定者数が10年後はこの位になるといった資料のほうが理解してもらい易い。
- 3つの団体が話し合うのであれば、これからの連携をどうするかということで地域包括ケアシステムの資料は配布しておいたほうがよい。
- 地域包括ケアシステムをこれからどう描くかということが今回の意見交換になるのではないかな。
- 議員は自分の主張をするのではなく皆さんの意見を課題として受け取るという姿勢でよいか。
→ 議員も相手方から聞きたいことがあると思う。単に聞くだけでなくその場で思った率直な疑問などを言って、意見のやり取りがあってもよいのではないかな。
→ 議員の自己紹介は行わず司会者が名前を紹介する形にする。また議員はできるだけ聞き役に回ってもらう。

- それぞれの団体の方々には自分たちの活動の実態を知ってもらいたいという点があると思う。司会者の人にはその点に配慮して進行をしていただきたい。

(その他)

- 役割分担については広報公聴委員が中心になるが、受付など1期目の議員数名に当日協力してもらおう。
- 全体会の席次は決めないのか。→役割のある人だけ決め他は自由に座ってもらおう。
- グループ会議の机の配置はどのようになるか。→昨年と同じ6角形にする。
- 配布資料については、介護保険法の改正と地域包括支援制度の資料に佐倉市内の給付費や保険料の変化などの資料を加える。
- 受付は2名必要。誘導も張り紙を掲示しておく。
- アンケートについては、部屋ごとに箱を用意し回収する。

以上のとおり会議要録を作成し、ここに署名する。

委員長 石渡 康郎